

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月31日

上場会社名 トーイン株式会社

上場取引所 大

コード番号 7923 URL <http://www.toin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 山科 統

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 埴淵 正伯

TEL 04-7131-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,705	5.7	180	△22.2	172	△20.3	103	△39.3
24年3月期第2四半期	5,398	7.5	231	—	216	—	170	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18.59	—
24年3月期第2四半期	30.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	15,436	8,195	53.1	1,471.20
24年3月期	15,018	8,185	54.5	1,469.29

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,195百万円 24年3月期 8,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	4.5	280	3.3	260	4.6	160	△31.9	28.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

通期の1株当たり当期純利益につきましては、平成24年10月1日に実施いたしました自己株式の取得(100,000株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,377,500 株	24年3月期	6,377,500 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	806,725 株	24年3月期	806,326 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,570,888 株	24年3月期2Q	5,571,973 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
( 1 ) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
( 2 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3 . 四半期財務諸表 .....	3
( 1 ) 四半期貸借対照表 .....	3
( 2 ) 四半期損益計算書 .....	5
第 2 四半期累計期間 .....	5
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要に支えられ緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務問題の長期化、新興国をはじめとする海外経済の減速、中東各国の政情不安、また、それらに起因する円高の長期化など、先行きが不安視される経済環境となっております。

包装資材業界においては、雇用・所得環境の改善にともない、個人消費も緩やかに回復してきたものの、得意先業界の市況の偏りや諸材料の価格動向の変化、電力価格などのエネルギーコスト上昇など、事業環境は極めて不安定な状況で推移いたしております。

当社は、このような状況のもと、包装資材事業は、医薬品分野の売上がほぼ前年並みにとどまる一方、化粧品・食品・日用品の各分野の売上が、積極的な企画提案型の営業活動を展開したことなどにより、既存客先を中心に拡大し、売上高は4,697百万円（前年同期比3.3%増）となりました。利益面については、引き続き月間生産計画の精度向上を計り、生産体制の改善に注力してまいりましたが、原材料等の値上げなどによる製造コスト上昇を吸収するにはいたらず減益となりました。

精密塗工事業は、展示会出展により間口を広げ、積極的な営業活動を展開したことにより、新規客先の開拓が進み、新規需要の試作開発製品が量産化移行となり、売上高は633百万円（前年同期比13.7%増）となりました。利益面については、売上が増加したことや高品質製品の安定供給に注力したことなどにより、増益となりました。

その他事業の売上は、販促品の売上が微減であったものの、積極的な企画提案型の営業活動を展開したことにより野田事業所の受託包装の売上が増加し、売上高は373百万円（前年同期比27.6%増）となりました。利益面については、フレキシブルな生産体制を推進し、生産効率を向上させたことなどにより、増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高5,705百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益180百万円（前年同期比22.2%減）、経常利益172百万円（前年同期比20.3%減）、四半期純利益103百万円（前年同期比39.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ417百万円増加し、15,436百万円となりました。これは主に、たな卸資産が159百万円、未収入金や信託受益権の減少により流動資産のその他が165百万円、株価の下落により投資有価証券が60百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が387百万円、売上高の増加などにより売上債権が474百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ407百万円増加し、7,240百万円となりました。これは主に、仕入債務が255百万円、借入金184百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ10百万円増加し、8,195百万円となりました。これは主に、投資有価証券の含み損の増加に伴いその他有価証券評価差額金が38百万円減少したものの、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が47百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年5月18日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

#### (減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ1,186千円増加しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,493,449	2,880,683
受取手形及び売掛金	2,573,142	3,047,629
商品及び製品	440,565	356,065
仕掛品	419,864	336,479
原材料及び貯蔵品	150,587	159,069
その他	1,070,151	904,218
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	7,146,760	7,683,146
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,390,382	1,521,730
機械及び装置(純額)	2,275,381	2,035,941
土地	2,319,579	2,319,579
その他(純額)	123,746	203,411
有形固定資産合計	6,109,090	6,080,663
無形固定資産	46,212	39,896
投資その他の資産		
投資有価証券	1,032,043	971,749
その他	686,287	662,757
貸倒引当金	1,830	1,830
投資その他の資産合計	1,716,500	1,632,676
固定資産合計	7,871,803	7,753,236
資産合計	15,018,563	15,436,383
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,512,748	2,768,192
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	479,800	509,400
未払法人税等	19,904	52,614
賞与引当金	84,000	93,000
その他	1,149,101	1,250,779
流動負債合計	4,595,554	5,023,987
固定負債		
長期借入金	1,372,000	1,527,000
退職給付引当金	145,304	145,737
役員退職慰労引当金	327,638	336,532
その他	392,411	207,413
固定負債合計	2,237,354	2,216,683
負債合計	6,832,909	7,240,670

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,244,500	2,244,500
資本剰余金	2,901,824	2,901,824
利益剰余金	3,485,839	3,533,708
自己株式	457,167	457,298
株主資本合計	8,174,996	8,222,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,657	24,584
繰延ヘッジ損益	3,000	2,438
評価・換算差額等合計	10,657	27,022
純資産合計	8,185,654	8,195,712
負債純資産合計	15,018,563	15,436,383

( 2 ) 四半期損益計算書  
( 第 2 四半期累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期累計期間 ( 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日 )	当第 2 四半期累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日 )
売上高	5,398,622	5,705,713
売上原価	4,461,379	4,794,070
売上総利益	937,242	911,642
販売費及び一般管理費	705,331	731,297
営業利益	231,911	180,345
営業外収益		
受取利息	4,282	3,879
受取配当金	13,114	14,411
その他	5,419	5,691
営業外収益合計	22,816	23,981
営業外費用		
支払利息	26,950	26,908
その他	11,425	5,014
営業外費用合計	38,376	31,922
経常利益	216,350	172,405
特別利益		
固定資産売却益	1,468	99
特別利益合計	1,468	99
特別損失		
固定資産売却損	179	-
固定資産除却損	47	7,282
投資有価証券評価損	50,194	23,882
その他	1,720	-
特別損失合計	52,142	31,164
税引前四半期純利益	165,676	141,341
法人税、住民税及び事業税	4,085	44,597
法人税等調整額	9,069	6,837
法人税等合計	4,984	37,760
四半期純利益	170,661	103,580

( 3 ) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。